

埼玉コンテナラウンドユース社会実験 の途中経過



平成27年7月22日 平成27年度第1回埼玉県コンテナラウンドユース推進協議会

埼玉県 都市整備部 都市計画課

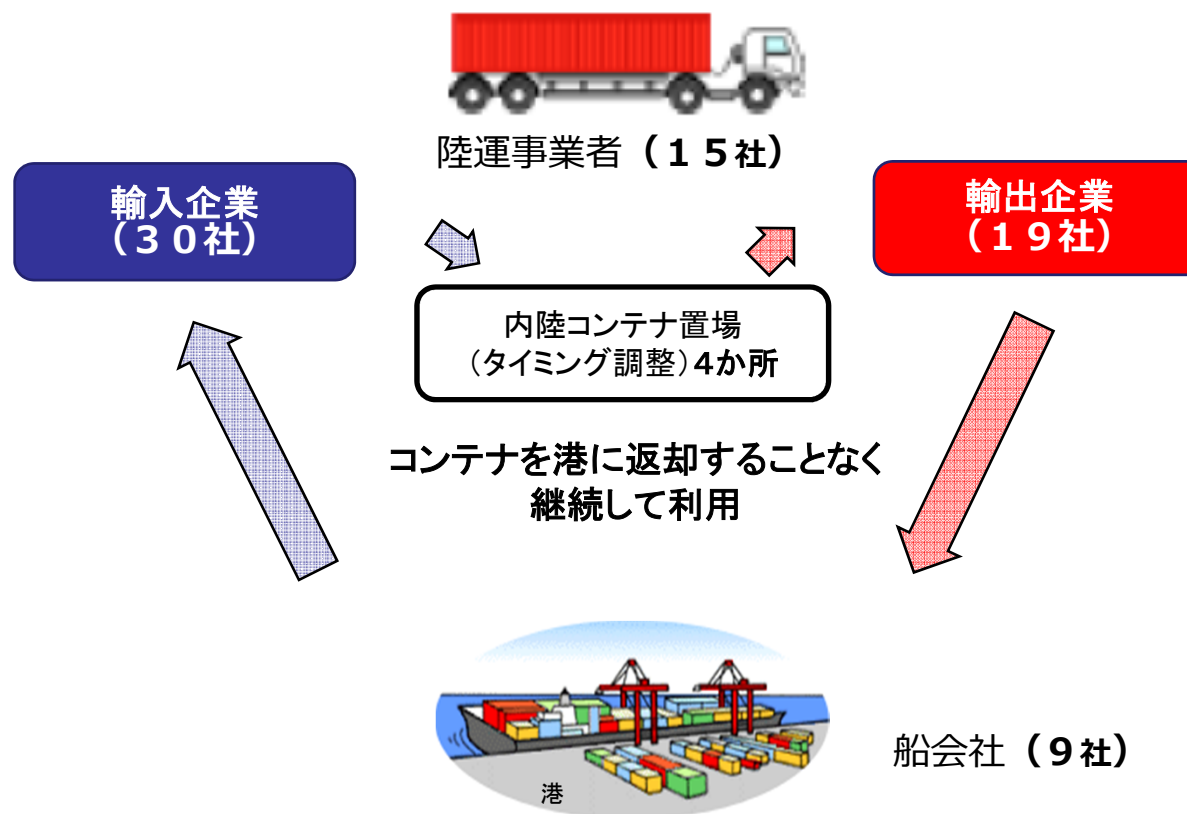


報告件数 と 参加企業数

報告件数 **451** 件

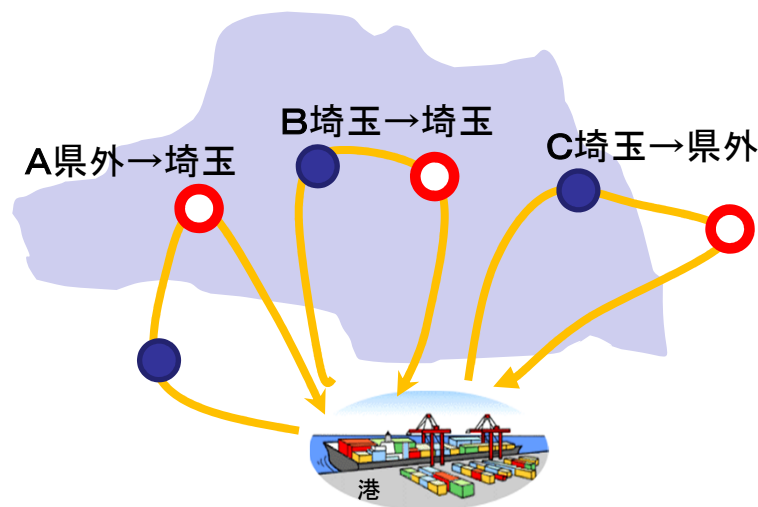
(H27.6.30現在)

1 ラウンド : 1 件





ラウンドのパターン



コンテナの動き →

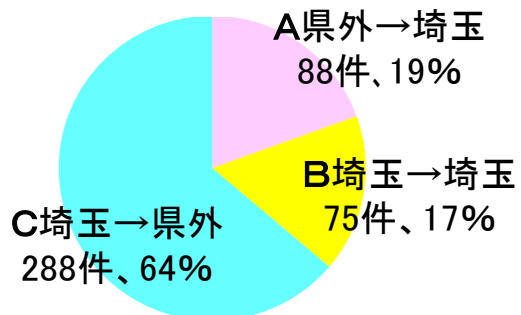
- 輸入(荷卸し)
- 輸出(荷積み)
- 内陸コンテナ置場

輸出入の組合せ

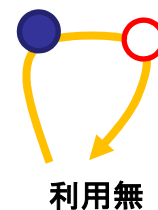
A 県外→埼玉

B 埼玉→埼玉

C 埼玉→県外

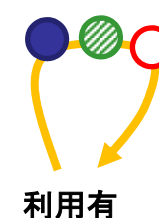


内陸コンテナ置場の利用状況



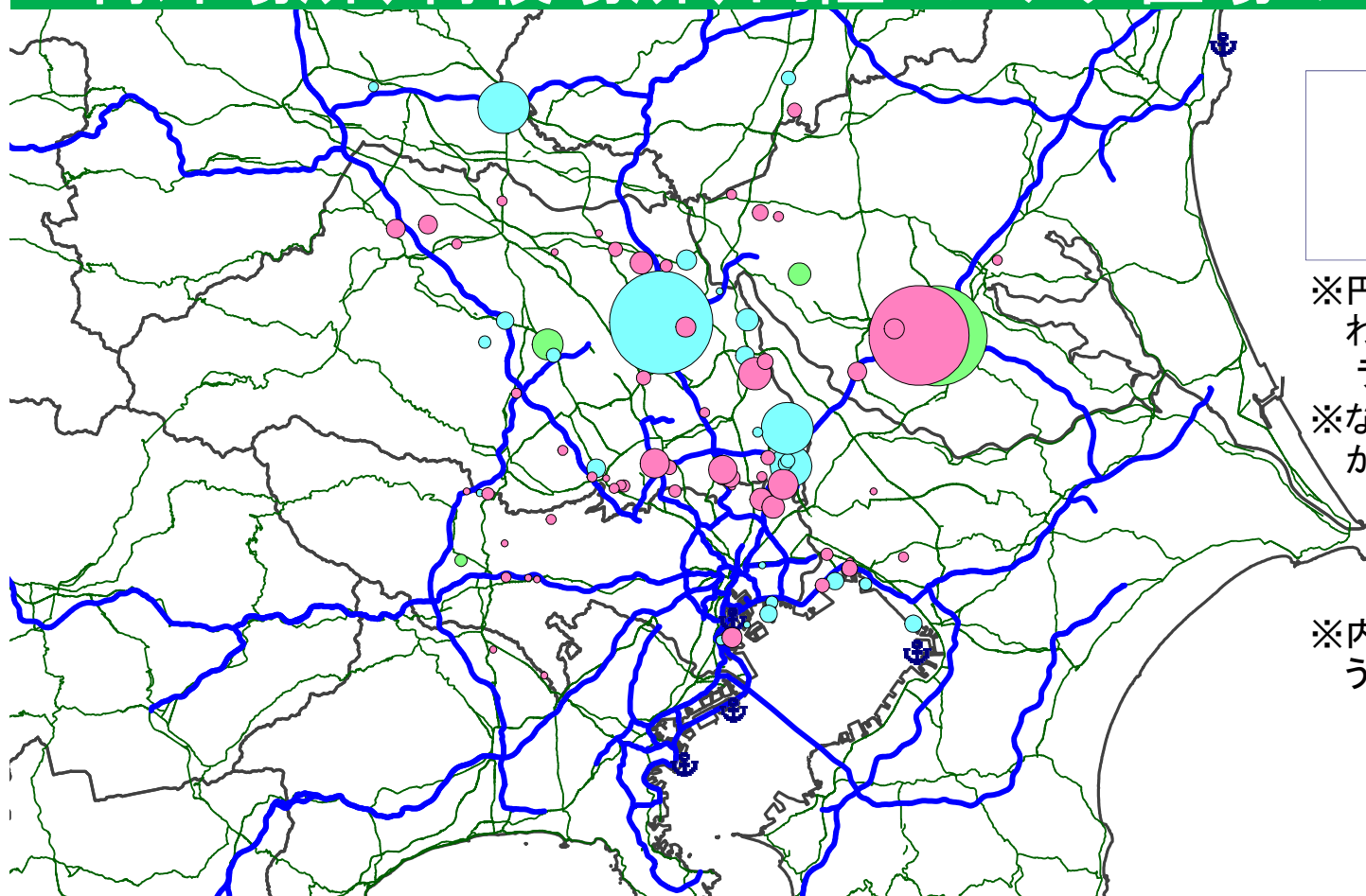
利用無
222件、
49%

利用有
229件、
51%





荷卸場所、荷積場所、内陸コンテナ置場の地理的分布



- 輸入(荷卸し)
- 輸出(荷積み)
- 内陸コンテナ置場

※円の大きさは、その場所が関
わるラウンド件数を示す
ラウンド件数451件

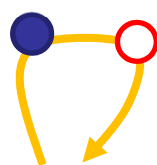
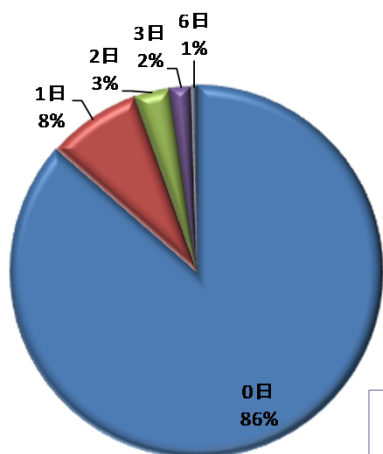
※なお、福島県での輸入荷卸し
が1件ある

※内陸コンテナ置場は4箇所で、
うち埼玉県内は1箇所
埼玉県川島町
茨城県つくば市
茨城県坂東市
東京都八王子市



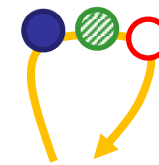
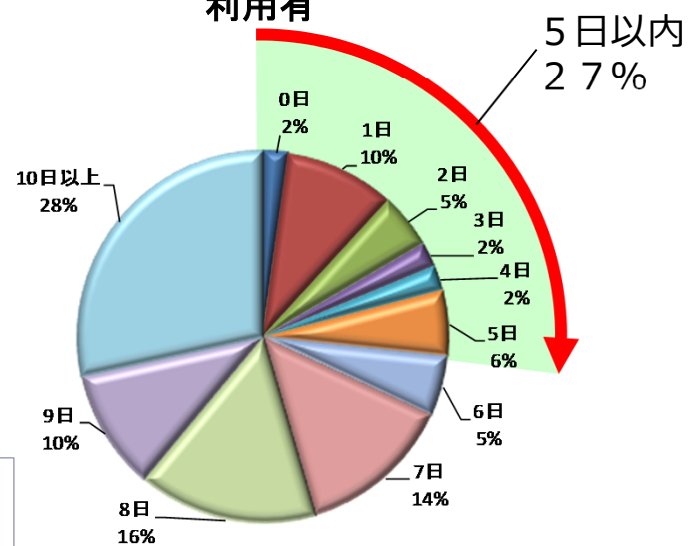
荷卸日から荷積日の間の日数

内陸コンテナ置場
利用無



利用無

内陸コンテナ置場
利用有



利用有

コンテナの動き →

- 輸入(荷卸し)
- 輸出(荷積み)
- 内陸コンテナ置場



荷の組合せ

輸入		輸出		金属機械工業品			雑工業品	特殊品	合計
				完成自動車	自動車部品	産業機械	衣服・身廻品・はきもの	再利用資材	
9品目分類	81品目分類	9品目分類	81品目分類	CKD	自動車部品	重機、農機	雑貨	古紙	
林産品	製材	材木、建設資材						23	23
金属機械工業品	自動車部品	自動車部品						1	1
	その他輸送機械	自転車						54	54
	電気機械	家電						86	86
化学工業品	測定・光学・医療用機械	医療機器						1	1
	染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品	医療品、樹脂材						6	6
		消臭スプレー				10			
軽工業品	飲料	ビール、ワイン	2	2					4
雑工業品	衣服・身廻品・はきもの	アパレル、下着					1	2	3
		靴	3	2				5	10
		かばん						1	1
		雑貨					8	2	10
	家具装備品	家具		197				45	242
合計				5	201	10	9	226	451

※ CKD(Complete Knock Down)。自動車を部品に分解し現地で組み立て可能な状態にしてある車両のこと。

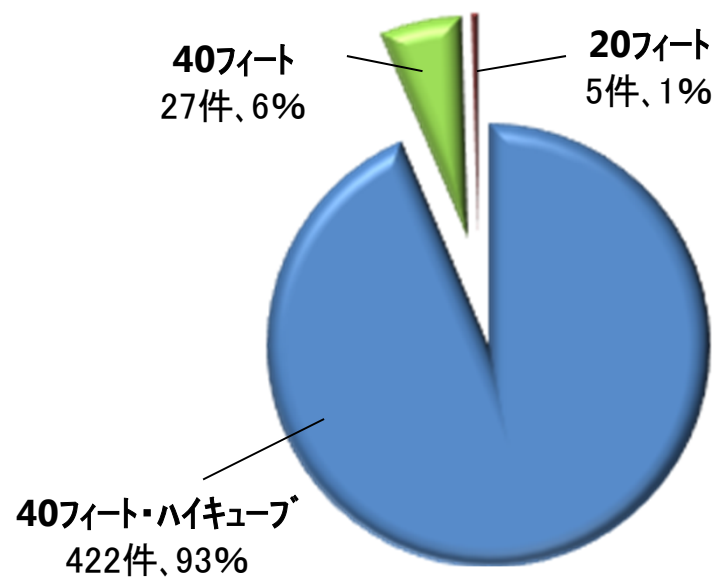


コンテナ種類・サイズ

コンテナ種類



コンテナサイズ





効果

効果


■コンテナ輸送距離 31.3%減

平均69.0km減／ラウンドユース1回
コンテナラウンドユース実施前 99,563km → 実施後 68,440km

■空コンテナ輸送距離 62.5%減

平均69.0km減／ラウンドユース1回

■CO2 34.5 トン削減(総計)

 スギ 2,462本／年 CO2吸収相当

※算定資料 経済産業省及び林野庁

■輸送時間 42.6%減

平均8.2時間減／ラウンドユース1回
コンテナラウンドユース実施前 8,667時間 → 実施後4,973時間

※算定条件 走行距離及び所要時間は国土交通省NITAS(全国総合交通分析システム)により計測、港の待ち時間2.5時間

■輸送コスト 19.8%減

※算定条件 S58タリフ

埼玉県都市計画課 試算
(H27.6.30時点データに基づく試算結果)